

○高松市のMICE振興におけるSWOT分析

※高松市のMICE振興における強みと弱みを内部環境と外部環境に分けて整理

強み

■内部環境

- 四国のゲートウェイ
(交通結節点、文化の多様性)
- ウォーターフロントのMICE施設集積
- MICE複合施設の存在
- コンパクトシティ
- 雨天の少なさ
(野外ユニークベニユーの活用機会増大)
- 丸亀町商店街の活性化実績
- 国際会議の実績蓄積
- 強力なMICEコンテンツ「盆栽」の存在
- 「四国遍路」とお遍路さんへの「おせったい」
から続くおもてなしの精神
- 雄大な多島美を持つ景観資源
- 全国トップクラスの補助金



弱み

■内部環境

- MICEに対する認識
 - ・旧来型のMICE
(学会中心、経済波及効果、観光強調)
 - ・観光・インバウンドの延長でのMICE
 - ・イノベーションの視点
- 誘致推進体制
 - ・ステークホルダーの組織化
 - ・県や大学との連携
 - ・長期的に携わることができる人材
- MICE施設
 - ・施設の規模(機会損失が発生)
 - ・施設間の連携が不十分
(ホールとホールの連携、
ホールと展示場の連携、
ホールと宿泊施設の連携)
 - ・分科会会場向け会議室総数が少ない
- インバウンドインフラが弱い
- 補助金頼みの誘致活動

機会

■外部環境

- 瀬戸内国際芸術祭のマザーポート
- インバウンドの急拡大
- アジアでのMICEの急増
- MICEの複合化
- 日本版DMO新設の機運
- 地方創生の機運
- 全国的なMICE施設建設ブーム
- 屋島山上拠点施設整備



脅威

■外部環境

- 市民のMICE認識
- 人口減少・高齢化
- 観光庁グローバルMICE戦略/強化都市との競争
- 近隣都市とのMICE競争激化
- 2020年オリンピック後問題
- G7香川・高松情報通信大臣会合開催結果による期待値増大

○高松市におけるMICEの整理

※緑字は第1回懇談会における意見

	優位性(潜在可能性)	重点分野(ターゲット)	課題
M 企業のミーティング	地場産業の活性化 希少糖、うどんなど 商機の提供 上記産業における商談会・技術視察	地域のグローバル企業や海外企業	・具体的な誘致戦略 ・ミーティング企画力 ・技術視察対応 (大学・企業連携)
I 企業報奨旅行	四国・瀬戸内海エリアの拠点都市としてのMICE活用 ・四国四県の「四国遍路」 ・瀬戸内海沿岸七県の「せとうち・海の道」 ・瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小豆島・直島など	高松市のMICE能力や 観光資源の活用を重視する海外企業	・商品開発力 ・誘致プロモーション ・高付加価値化
C 国際会議、学会、 大会	実績の展開容易 ブランド効果の最大化 ・G7香川・高松情報通信大臣会合 ・第4回日仏自治体交流会議 ・第11回アジア太平洋盆栽水石高松大会	・政府系国際会議 ・学術分野：香川大学工学系 (ナノテクノロジー、 バイオ、環境、希少糖) ・産業分野：盆栽、商店街開発、 コンパクトシティ	・国際会議への取組 ・強みを活かした 誘致プロモーション ・MICE対応施設の充実
E 展示会・商談会・ 企業イベント・ スポーツイベント	創出型MICEへの取り組みの可能性あり 上記M・I・Cと展示会・企業イベントとの 組み合わせによるMICE観点での誘致	上記のM・I・Cに併用・複合化できる 展示会、商談会、イベント	・既存体制からの発展 ・MICE観点による誘致体制 ・即売会から展示会へ

高松市における
MICE振興の課題

- ◆ ポテンシャルの活用
- ◆ プロモーション強化
- ◆ 組織的対応
- ◆ 産業活性化